

## 自分の命は 自分で守ろう

学校長 大竹 貴子




梅雨の合間、プールから子どもたちの楽しそうな歓声が聞こえてきます。

土曜参観には、ご多用の中、多くの皆様にご来校いただき、ありがとうございました。子どもたちも活動の様子を見ていただき、うれしかったことと思います。

6月15日、本校の図書室で、中沢小学校スクールゾーン対策協議会が行われました。これは、子どもたちの安全な環境をつくるために、PTAの皆さん、警察署や区役所、土木事務所の方々、連合町内会の皆さんにご参加いただき、話し合う会です。この日のために、校外委員さんが各地区のスクールゾーンを点検し、壊れている標識、薄れてしまっている道路標示、危険な場所等についてきめ細かく調べてくださいました。本校学区は、細い道路を裏道として通る自動車が多く、スピードも出しているため、危険な道が多いということです。要望した箇所はほぼ認められましたが、他地域とも比較し優先順位の高い箇所から順次直していくということです。

その会に、今年度ニュータウン駐在所に着任なさった駐在員さんもお参加くださり、お話をしてくださいました。登校時、保護者の方だけでなく交差点など危ないところで見守りをなさっているボランティアの方が多く、中沢のまち全体で子どもたちを守ろうという気持ちが伝わってくるとおっしゃっていました。小学校の下の交差点にも、炎天下や豪雨の日も毎日立ってくださっている方々がいますが、10年近く続けていらっしゃるとのことでした。安全な環境づくりだけでなく日々の生活でも保護者や地域の皆様と一緒に協力して子どもたちを見守ってくださっていることに感謝いたします。

一方、子どもたちの歩き方については、朝は、登校班なので比較的安全に登校していますが、下校時は気が緩み危ないことも多いようです。友達とふざけて追いかけてこのようになり、つい歩道から車道に飛び出してしまったり、細い道を広がって歩き、クラクションを鳴らされて車が来ていることに気があわててよけたりする姿を見かけるとい声聞きます。今まで事故がなかったことは幸いですが、これからもないとは言えません。子どもたちにも自分達の歩き方について振り返ってほしいと思います。

そこで、6月20日に「はまっこ交通安全教室」を行いました。旭警察署、交通安全協会、校外委員の皆様にご協力いただき、1・2年生は歩行の仕方、3年生は自転車の乗り方の指導を受け、実際に模擬道路で練習をしました。道路に駐車車両が止まっているときの通り方、通りが見えにくい交差点の渡り方等、実際にある場面を想定した練習でした。子どもたちは熱心に話を聞き、緊張しながら真剣に取り組んでいましたが、ここで教えていただいたことを「思い出し注意する」のではなく、「当たり前のこと」として日常生活で実践し、自分の命は自分で守ってほしいです。3年生には、自分が被害者になるだけでなく加害者にならないように、との指導もありました。実際に自転車に乗っていて他者にけがをさせてしまい保護者が多額な賠償金を請求されたという事例を紹介していました。お金も気  
なりませんが、自分も他人もたった一つしか命はありません。誰もが悲しい思いをしないように心から気をつけてほしいと思います。

もうすぐ夏休みが始まりますが、各地で不審者情報が出される昨今です。子どもたちと保護者の皆様、地域の皆様が互いに顔のわかる関係であることが安心につながると思います。ぜひ、朝、ボランティアの皆様と挨拶を交わし合ったり地域のお祭りに参加したりすることから関係を深めてほしいです。